



## いきものふれあいの里

### 「陶史の森」 だより

土岐市ネイチャーセンター ☎5144

#### 雪とカメムシ

触ると悪臭を放つことで、嫌われ者のカメムシ。カメムシ目（または半翅目）の昆虫で、セミと同じように口が注射針のようになってるのが特徴です。名前の由来は外見からも想像できるように、甲羅に覆われた亀に似ているところから付けられました。日本には60種以上がいて、総称してカメムシと呼んでいるようです。

ところで、昨年は夏から晩秋にかけて、カメムシがたくさん発生しているという声をよく聞きました。確かに陶史の森ネイチャーセンターには、連日10匹以上のカメムシが窓ガラスに張り付いていました。

昔から『カメムシが多い年は雪も多い』といわれています。科学的根拠ははっきりしていませんが、この冬は雪がたくさん降るのでしょうか？ほかに「ハチが低い所に巣を作る年は台風が多い」など、生き物の様子から季節を予言する俗説が日本各地に多く残されています。

自然界には解き明かされていない事象がまだまだたくさんあります。昆虫は、自然の変化が自らの生命に直接関わるため、私たち人間より自然のことをずっと知っています。そんな昆虫の姿から、私たちも自然に対する感覚を謙虚に磨いていきたいものです。

森	の
日	記

#### 葉っぱのしおり作り 11月13日(日)

赤や黄色の紅葉に彩られた陶史の森で、落ち葉などを使ったしおり作りを行いました。電子レンジを使って葉っぱの水分を飛ばした後、台紙に乗せてラミネートフィルムで封じ込みました。葉っぱの特長を生かしたり、はさみで切ったりして、とてもすてきなしおりができました。



#### 児童館職員研修 11月17日(木)

岐阜県児童館連絡協議会の研修会が陶史の森で行われました。県下各地の児童館で勤務する職員が集まって、自然の素材を生かした遊びを工夫しました。松ぼっくりを使った投げて遊ぶもの、ドングリで作ったペンダント、木の実や枯れ枝などを使ったリースなどができ上がりました。

#### 教室のご案内

##### 1月

- バードウォッチング(自由参加)  
1月22日(日)午前9時～11時30分  
冬の野鳥を観察(雨天中止)



##### 2月

- シイタケ教室(定員30人・要申込)  
2月5日(日)午前9時～11時30分  
ほだ木にシイタケの菌を打ち、育て方を学ぶ
- バードウォッチング(自由参加)  
2月26日(日)午前9時～11時30分  
冬の野鳥を観察(雨天中止)

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。